



# ジオスペース館だより

## ★ギリシア神話と日本神話 ~ おもしろ比べ ~

星座の起源は、紀元前3000年もの大昔。古代メソポタミア地方（現在のイラク付近）に住んでいた羊飼いたちが、羊の番をしながら星と星をつないで、動物や人などの形を想像したのが始まりといわれています。それがやがて古代ギリシアに伝わり、『ギリシア神話』として広まってきました。

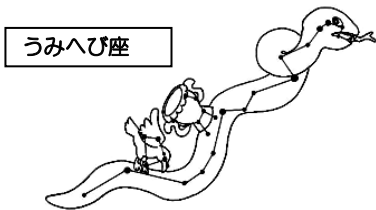
ギリシア神話には、自然や文化に関わる数多くの神が登場し、日本の八百万の神と多くの共通点があります。『ギリシア神話』と『日本神話』は、どんなところが似ているのか、比べてみましょう♪



### 怪物ヒドラ(ギリシア) ⇔ ヤマタノオロチ(日本)



#### ☆ ギリシア神話 <ヒドラ>



うみへび座

春の代表「しし座」のすぐ南に位置する、暗い星々でできた大蛇の星座「うみへび座」。頭からしっぽの先まで昇り切るのに7時間もかかる最も大きな星座として知られています。この星座の神話に登場するうみへびが、



©あさだ考房

9つの首から毒の息を吐く恐ろしい怪物ヒドラです。勇者ヘルクレスが王様から科せられた「十二の大冒険」の1つが【レルネの沼のヒドラ退治】でした。ヒドラの首は、切り落ととしても切り落ととしても、そこから新しい首が2本生えてきます！そこでヘルクレスは、首が二度と生えないように切り口をすぐ火で焼き、最後に残った首を巨大な岩の下敷きにして、見事に退治しました。

#### ☆ 日本神話 <ヤマタノオロチ>

ヒドラのように恐ろしい蛇が日本神話にも登場します。ヤマタノオロチは、8つの谷と8つの丘にまたがるほど巨大な蛇の怪物。8つの頭と8つの尾を持ち、目はホオズキのように赤く、体にはコケやヒノキなどが生え、腹はいつも血でただけていました。天界を追放されたスサノオノミコトが、出雲国（島根県）の斐伊川へ向かった時のこと。娘とその両親が泣いているので理由を聞くと、ヤマタノオロチが毎年、8人の娘たちを1人ずつ食べに来ると言うのです！スサノオノミコトは、最後に残った娘クシナダヒメを救うため、ヤマタノオロチを酒で酔わせ、眠ったときに剣で切り刻んで退治しました。尾の中からは、三種の神器の1つ「草薙の剣」が出てきたということです。



### ☆☆ 4月のプラネタリウムのご案内 ☆☆

平日	15:00~	FROM EARTH TO THE UNIVERSE ~宇宙への旅~
土日祝	10:30~	あふりか ぽれぽれ
	13:30~	ドラえもん 宇宙ふしぎ大探検2 ~太陽系のひみつ~(字幕付)
	15:00~	FROM EARTH TO THE UNIVERSE ~宇宙への旅~(字幕付)



### ☆プラネタリウムの休館日

<4月> 3(月)・10(月)・17(月)・19(水)・24(月)

<5月> 1(月)・2(火)・8(月)~11(木)・15(月)・17(水)・22(月)・29(月)

豊川市ジオスペース館☆三